

別紙

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

福山原料化工場

(2) 事業所の所在地

〒721-0956 福山市箕沖町1 1 3 番地

(3) 業種

8 8 1 6 ごみ処分業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成27年度を基準年度とし、平成28（2016）年度から平成32（2020）年度までの5年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況
 《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂) , 削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量(a)	目標年度 上段：見込量(b) 下段：削減率(c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d), 下段：削減量の対基準年度比(e))				
	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度
エネルギー 起源CO ₂							
非エネルギー 起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
温室効果ガス 実排出量総計							
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価							

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：処理量 (t)

温室効果ガスの種類	基準年度の実績(a)	目標年度 上段：目標(b) 下段：削減率(c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d), 下段：削減量の対基準年度比(e))				
	平成27年度	平成32年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	平成 32年度
エネルギー 起源CO ₂	0.285	0.271 -5%	0.293 -3%	0.311 -9%			
非エネルギー 起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
温室効果ガス 総排出量							
エネルギー消費 原単位(原油換 算kl)	0.103	0.098 -5%	0.106 -3%	0.112 -9%			
実績に対する 自己評価	当工場では高炉と材料の2手法で一般廃棄物のプラスチックをリサイクルしているが平成29年度は材料手法において、リサイクル製品の品質向上を目的に処理能率を抑制した。そのため、エネルギー消費原単位及びエネルギー起源CO ₂ が基準年度に対し増加する結果となり、目標未達となった。						

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	燃料使用量を原単位で 1%/年削減	<ul style="list-style-type: none"> 乾燥機燃料の使用量削減を目的に高炉手法でのバーナーレス操業を計画的に実施している。 アイドリングストップの徹底 高炉手法の処理能率高効率化
2	電気使用量の削減	電気使用量を原単位で 1%/年削減	<ul style="list-style-type: none"> 冷暖房温度の適正管理 高効率照明器具への更新を実施 全照明の高効率化完了 休憩時間中の消灯を徹底 パソコンの省電力設定を徹底 高炉手法の処理能率高効率化 照明のLED化が完了 設備の省電力化を実施 低能率工程の間欠運転化 操業一斉停止日を設定 高炉・材料手法の同時稼動による 両手法共通電力の効率化
3			
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		

○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
	周辺地域への貢献		<ul style="list-style-type: none"> 定期的な公道清掃実施 工場見学等の積極的受入れ (平成29年度実績：16件、288名) 地域イベント等への積極的参画 夏季のグリーンカーテン実施
	品質環境 マネジメント システム	毎年度エネルギー目標値を設定	<ul style="list-style-type: none"> マネジメントシステムの導入 関連法規及び規制の遵守 グリーン購入の推進 ISO9001・14001 取得 (2017.08.23)

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。